

施策	項目	発言概要	対応案 〔 ①改訂版に反映 ②実施段階で対応 ③次期ビジョン策定時に反映 ④その他 〕
施策1 下水道施設の機能確保と計画的な改築	管渠の改築延長	年間7kmでは改築を終えるまでに100年かかる。どの自治体も予算上の制約があることは重々承知しているが、全体としてどう再構築していくのか、ある程度想定しておいたほうがよい。	② ストックマネジメントの実施の中で、評価・見直しを行いながら、限られた予算の中で機能確保できるよう検討を進めます。
		住居にも耐用年数はあるが、どのようなメンテナンスを行うかで寿命は大きく変わってくる。管渠については適切にメンテナンスする前提であると思うので、長寿命化や対処の仕方がどの程度変わってくるのか、ビジョンでうまく表現できれば良いと思う。	① ビジョン期間中の対象や進め方などの考え方について、説明を追記します。
		東京都では、全管渠に対してライフサイクルコストが1番小さくなる期間を80年と試算し、その期間で、管渠全体を改築できるよう計画している。新潟市にそのまま適用できるわけではないが、東京都の80年と新潟市の100年であれば説明可能な差だとは思ふ。新潟市の管渠の評価次第ではあるが、いずれにしても効率的に予算を使っていくための試算は必要である。	① ビジョン期間中の対象や進め方などの考え方について、説明を追記します。
	年間7kmというのが単に予算上の制約なのか、それとも東京都のように試算に基づく計画なのか。根拠となるものを示さなければ、持続可能性について疑問をもつ市民がいると思う。	① ビジョン期間中の対象や進め方などの考え方について、説明を追記します。	
	老朽化への対応	指標に関する説明をわかりやすくしてもらいたい。数字が悪くなる理由の説明も必要だと思う。	① 「6.目標(指標)」において、注釈として補足を追記します。
	ストックマネジメントの説明	ストックマネジメントについては現時点でも2ページ使って説明されているが、もう少し具体的でわかりやすい記載にできればよいと思う。	① ビジョン期間中の対象や進め方などの考え方について、説明を追記します。
	ウォーターPPP 整備費の減少	ウォーターPPPについて、市民に分かりやすく説明してほしい。	① 図表の追加、用語の説明で補足します。
当初の見込みよりも整備費が減っているというのは、当初の予定よりも選択と集中を進めたということなのか。それとも当初は十分に選択と集中ができていなかった、ということなのか。		① 整備費が下がった主な要因である施策1のうち、施設の改築において、更新年度が比較的短い健全度1の電気設備を中心に実施してきました。電気設備は対象となる施設数は多いものの、事業規模が小さいため多くの設備を改築したことで健全度1の目標は達成していますが、整備費が減少した要因になっています。急増する老朽化施設の故障のリスクに対応するため、施策1の指標である健全度1設備の対応とともにリスクの高い健全度2設備も対策を併せて進めていくこととしました。一方で事業規模の大きな機械設備にも対応していくため、改築数がこれまでより少なくなることから、指標の目標値は下方修正しますが、重点的に予算配分を行い予防保全型の維持管理と管理施設全体のリスク低減を図っていきます。	
施策2 雨に強い都市づくり	浸水対策の広域的な連携	「②施策の目的・背景」への記載では具体性に欠けると思う。例えば、「②施策の目的・背景」では、下水道が主体的に書かれておらず、ただ流域治水の概要に触れているだけとなっている。下水道中期ビジョンである以上は、下水道を前面に出した記載してほしい。	① 下水道としての流域治水の関わりとして、目的・背景と取り組み内容がリンクするよう記載を修正します。
	雨に強い地域についての記載内容	資料1-2「見直しの方向性」で写真や挿絵などを工夫するとあるので、素案作成時に先ほどの意見を反映してほしい。	① 具体的内容については素案で対応します。
施策3 地震・津波対策の推進	施策別事業費	施策3も施策5と同様に施策別事業費が少なくなっている。理由が明確にわかるような説明があるとよい。	① 「6.目標(指標)」の施策別事業費に注釈で施策1に含む説明を追記します。
	管渠の耐震化率	管渠の耐震化率については分母を明示したほうがよい。100%になれば全管渠が耐震化を終えたと勘違いされてしまう可能性がある。	① 対象となる施設や耐震化率の考え方を追記します。
施策5 下水道資源の有効利用	施策別事業費	下水道資源の有効利用・脱炭素化の推進の施策別事業費が0億円というのは、何もしていないように誤解を与える可能性がある。円単位・千円単位にするなど、表現方法を工夫すべきである。	① 「6.目標(指標)」の施策別事業費に注釈で施策1に含む説明を追記します。
	脱炭素化の推進	施策5では脱炭素化の推進として、太陽光発電の導入や温室効果ガスの発生メカニズムの検討があげられている。改築に併せた脱炭素化の推進は施策1で挙げられているが、実際にはこちらの占める割合の方が大きいので、脱炭素化の項目内に、省エネ機器の導入や消化ガス発電量の増加など、施策1関連の事業も手厚く記載したほうがよい。事業費についても同様で、施策1に含まれる関連事業費を施策5にどのように記載するか検討が必要だ。	① 「6.目標(指標)」の施策別事業費に注釈で施策1に含む説明を追記します。
効果的な広報	全国的な取組みの周知	全国的な取組みや新しいアイデアなどについても周知してほしい。	② 他都市の先進的な取組事例等について情報収集し、周知します。